

令和6年度 第1回 葵が丘小学校運営協議会 会議録（要点記録）

- 1 開催日時 令和6年4月25日（木） 14時30分から16時30分まで
- 2 開催場所 葵が丘小学校 南校舎1階 多目的室
- 3 出席委員 小栗 則利、桐村 哲雄、見野 泰弘、若松 由希野、田村 都弥
- 4 欠席委員 伊藤 謙吾
- 5 オブザーバー なし
- 6 学校コーディネーター 見野 泰弘、西原 真知
- 7 学 校 島田 一孝（校長）、佐藤 明世（教頭）、芹澤 純子（CS担当職員）
村上 朝香（CSディレクター）
- 8 教育委員会 鈴木 陽子（教育総務課）
- 9 傍聴者 なし
- 10 会議録の作成者 CSディレクター 村上 朝香
- 11 議長の選出

小栗会長より、年間を通して見野委員が務めることが提案され、全員異議なくこれを承認した。

12 協議事項

- (1) 学校運営の基本方針について
- (2) 葵が丘小学校いじめ防止について
- (3) 夢育やらまいか事業に対する意見書及び「夢育やらまいかCS加算分」予算案について

13 会議記録

司会の佐藤教頭から、委員総数6人のうち5人の出席があり、過半数を超えているため、会議が成立している旨の報告があった。

○ 熟議

(1) 学校運営の基本方針について

議長の指示により、校長から別紙資料に基づき、学校経営の重点についての説明があり委員から以下の発言があった。

● 運動週間の設定について

- ・ 葵が丘小学校のスポーツテストの評価はどうか。（小栗会長）
 - 項目によっては、かなり低いものもある。けがにつながる危険性もあるため、今後の課題でもある。（佐藤教頭）
 - 運動する子供としない子供の二極化が広がっている。危惧するところでもある。（島田校長）
- ・ 運動週間とは具体的にどのようなものか。（見野委員）
 - 運動委員会を中心に、年間を通して何かのスポーツに取り組む期間を設ける。いろいろなスポーツに触れる機会を増やしていくのが狙い。（芹澤先生）

● 学ぼうふるさと学習の充実について

- ・ 学ぼうふるさと学習は、具体的にどのような活動内容なのか。各学年別で基本方針はあるのか。(桐村副会長)
 - 地域を知ることが主な目的として学年別に年間計画を立てている。地域を知ること、自分たちの生活の場を大切にできるのではないかと考えている。(芹澤先生)
 - 3年生総合の授業で、地域に密着した学習を進めている。また市とも連携し、地域学習に取り組んでいる。市に講座を依頼すると講師を派遣してくれて、浜松について学ぶ機会がある(出前講座)。地域の方や市の職員と直接接することで、子供たちの学びが深まるよう考えている。(佐藤教頭)

● あおいっ子スマイルサポーターの活用について

- ・ 花壇の水やりや草取りのサポーターや団体を募りたいが、何か良い方法はないか。(見野委員)
 - 葵東地区は、高齢化も伴い地域のボランティアが活動できなくなっているのが現状である。(小栗会長)
 - 高丘東地区に『東のむつみ会』という団体がある。依頼をかけてみることは可能である。(桐村副会長)
 - 委員会を通して花壇の整備を行っているため、地域の方や保護者、子供たちとで協働で活動ができれば望ましい。(佐藤教頭)

(2) 葵が丘小学校いじめ防止基本方針について

議長の指示により、校長から別紙資料に基づき、葵が丘小学校いじめ防止基本方針について説明があった。

- ・ 健全育成会での報告で、葵が丘小学校では前年度30件ほどいじめが発生したと聞いた。他校より多いように感じたが、実際はどのように対応したのか。(小栗会長)
 - 些細な案件も含め、全て報告した。当事者が不快に感じたものは全ていじめと捉え、教員全員で取り組むようにした。(島田校長)
 - 事実を教員に言える環境でもないと捉えている。他校より報告件数が多いのは、寄り添える教員がいることの裏返しでもあると理解している。また認知したあとの行動が重要であり、教員全員で共有し子供に対してのフォローを継続して行っている。(佐藤教頭)

(3) 夢育やらまいか事業に対する意見書及び「夢育やらまいかCS加算分」予算案について
議長の指示により、教頭から別紙資料に基づき、夢育やらまいかCS加算分についての報告があった。

協議の結果、全員異議なくこれに賛同した。

◇ その他報告事項等

- ・ 司会から、次回会議は令和6年6月20日(木)15時から多目的教室で開催する旨の報告があった。